

上田市教育委員会 10月定例会会議録

1 日 時

令和5年10月20日（金） 午後3時00分から午後3時48分まで

2 場 所

上田市役所 202・203 会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	安 達 永 眞
委 員	森 田 小 百 合
委 員	大 久 保 恵 子
委 員	木 口 博 文

○ 説 明 員

小野沢教育次長、児玉教育参事、山賀教育総務課長、宮原教育施設整備室長、長田学校教育課長、上原生涯学習・文化財課長、和根崎上田城跡整備担当政策幹、久保田人権同和教育政策幹、小須田学校保健給食課長、星野中央公民館長、大森川西公民館長、金田上田情報ライブラリー館長、小林丸子地域教育事務所長、松木真田地域教育事務所長、若林武石地域教育事務所長

1 あいさつ

10月に入って、ここのところ心配なことが1つある。この協議会が始まる前にもここで話題になったが、インフルエンザがかなり流行し始めている。インフルエンザは冬のものだと思っていたがそうではなくなってきた。最近是一年中罹患する可能性があるのではないかとやっている人もおり、これからどうしていけばよいかと本当に心配している。

今週の小・中学校の児童生徒のインフルエンザの感染については、学級閉鎖が3つの学校で起きてしまった。

今後一番心配されるのが、年明けの2月、3月、高校受験の時にインフルエンザがどうなるのかということが一番心配である。この時期にこれほど感染が広まっていて、年が明けたらどうなるのかと心配になるが、今後も注視をしていく。

教育委員会の中には、感染状況を確認するシステムがある。各校が、その日に何人感染したかという事を入力している。そのようなものもしっかり確認していきたいと考えている。

それでは、本日報告事項のみだをお願いします。

2 報告事項

(1) 令和5年度重点目標の中間報告について（教育総務課）

○資料1により山賀教育総務課長説明

では、重点目標の中間報告ということで資料1、A3の横版のものを御覧いただきたい。

最初に私の方から、この表全体についての説明をする。市全体として、部局ごとにその年度で取り組むべき重点目標というものを設定している。教育委員会としても、令和5年度の目標設定については、3月の定例教育委員会でお諮りをしたところであるが、今年度は四つの重点目標を立てている。

それについて、今この一覧表のところで、左側に細く番号があるが、4つの大きな重点目標がある。その次に、具体的な重点取組項目があり、真ん中の列が、それに対する期限であるとか、数値目標を掲げている。この2列までのところは、先ほどお話しした3月のときに、今年度これで取り組んでいくということで、お示しした資料と同じものになる。本日は、この一番右側の「進捗状況・進捗度」について令和5年度が半期過ぎたところで、それぞれの項目ごと振り返ってどんな状況であったかということをもとめたものになる。記載の順番に担当課から説明をさせていただく。

では、学校教育課から。

◇長田学校教育課長

学校教育課担当分は、上田市教育プランの推進に掲げた5つの事業のうちの上から2つ、1番目と2番目、1「確かな学力の育成」および2の「すべての子どもに寄り添う支援」である。

取組状況を御説明申し上げるが、1の「確かな学力の育成」に向けて、本年度は(1)にある「授業改善」そして(2)にある「GIGAスクール構想の推進」、それに対する具体的な項目として3点設けている。

それぞれの内容等については、各種会議の開催等、支援の内容の充実を図ることを目標に掲げている。具体的な現在までの進捗状況であるが、会議等に関しては、当初予定した

会議を順次開催している。

参加者数についても、例年通りではあるが、計画通り進めている。また、MIMの実践に関しても今回7年目に移るということであり、各校でより充実した内容で取り組んでいる。

また、(2) GIGA スクール構想であるが、「効果的に使う段階への移行」という項目で記載させていただいた。それぞれ、端末が整備されて、個々の学習で使う頻度は高まっているのだが、よりそれを効果的に活用していく。具体的には、発表や意見交換、それらの場での活用が今年度進めていきたいということで、それに基づいた支援として ICT 支援員による授業支援の内容を強化している。

また大きな 2 番目、全ての子どもに寄り添う支援ということで、不登校児童、悩みを抱える児童生徒への支援、そして特別な支援を要する子どもへの支援ということで、項目を設けた。

相談・支援体制の支援強化ということで、例年行っている教育相談所による会議、全校訪問等を実施している。また、今年度、重点的に取り組んでいるところとして、スクールソーシャルワーカー、右側の SSW という表記で大変わかりにくいのだが、スクールソーシャルワーカーが昨年度に比べて 2 名増員し、5 名となり、小学校全校でスクリーニング会議を開催した。そしてスクールカウンセラー 2 名は上田市で雇用しているが、スクールカウンセラーによる相談員向けの研修会を新たに実施した。

また民間施設との連携構築ということで、昨年度制定したガイドラインの周知、あとこれについて民間施設との連携構築のためできれば前半に会議を行いたかったのだが、なかなか調整がつかなかったもので、それぞれの施設の責任者の 4 名の方といろいろ情報交換をさせていただいた。ぜひ全体会を開きたいということであるので、後半に向けてその連携会議を開催したいと思っている。

また、特別な支援を要する児童生徒ということで、一点すみません、訂正をお願いしたい。

(2) ①「ユニバーサルデザイン化の視点を生かした取組の推進」の真ん中の列の、期限・数値目標等で、実践報告を市内 4 小学校となっているが、これ 4 小、中学校で中学校の中が抜けていた。大変申し訳ございません。中学校を加えていただき、具体的には塩田地区の学校であるが、これらの取組を引き続き行い、その状況を市内の小・中学校に発信しているということである。

内容等については、当初予定した内容が現在のところ順調に推移しているということである。私の方からは以上である。

◇小須田学校保健給食課長

続いて、3 の「豊かな心と健やかな身体の育成」について、御説明申し上げます。

具体的に設定した 3 項目については、期限、数値目標に向けてそれぞれ取組を進めているところである。(1) の給食だより等での周知、(2) は学校の情報提供に向けた調査の取りまとめを行ったところである。(3) については、学校現場とも連携した施策に向け、参考資料とするために、養護教諭を対象にしたニーズ調査を今月下旬から来月にかけて実施する予定となっている。以上である。

◇山賀教育総務課長

続いて 4 番、学校給食施設の計画的な整備とある。こちらについては第 2 学校給食センター改築事業に関わることで、令和 5 年度 3 学期の稼働開始に向けて建設工場建設、継続をしてきた。

◇小須田学校保健給食課長

(2)の「第二学校給食センターにおける食物アレルギー対応の検討・関係者への周知」こちらについては、アレルギー対応食の提供に向けた取組として、保護者への説明会を6月から7月にかけて市内4ヶ所で、開催するとともに、現在は各小学校の来入児保護者会で説明を行うほか、実際にアレルギー対応食を希望する保護者との面談を順次進めているところである。こちらについて説明は以上である。

◇山賀教育総務課長

重点目標1の最後になるが、5番「小中学校のあり方の検討」で、中学校区別の基本方針の説明会で中間までのところでは2カ所の中学と塩田中学校区で開催することが出来た。

最初に私が総括で申し上げなければいけなかったが、重点目標ごとに右肩のところに各部局の自己評価という欄がある。1であると一重の○がついているが、表の上のところに評価基準が記載しており、教育委員会の取組、4つの重点目標は全てこの一重の○ということで、概ね予定通り順調に進んでいることから、こういった評価とさせていただいた。1については以上になる。

◇宮原教育施設整備室長

続いて、重点目標2の安全安心な教育環境の整備ということで、教育施設整備室が担当している。こちらであるが、第五中学校改築事業になる。こちらの方は校舎等建設に必要な解体工事ということで、体育館と部室と屋内運動場を7月末までに完了している。その後、校舎棟の建設ということで、6月議会の承認をもらい、7月から工事着手し、8月から根切を開始している。こちらの方も予定通り進んでおり、予定よりも少し早めに進んでおり、6年の1月頃には建て方を予定し、現在進んでいる。

2番目として、中学校所照明器具のLED化改修事業になる。こちらの方は、市内小中学校の10校、校舎棟を行い、運動場全てをリースによりLED化する。

こちらの方も5月に業者が決まり、順調に行っており、学校でも打ち合わせをしながら、施工できるところから順次施行しており、1万灯あるうち、3,700灯ぐらい、37パーセントぐらい現在やっている。

続いて、3番目の川辺小学校、東小学校、東塩田小学校の整備事業だが、こちらの方も7月に業者が決まり、川辺小は、今、基礎工事を盛んにやっており、東塩田小学校の方は今根切をやっているところである。

続いて、4番目の小学校トイレ改修事業であるが、こちらの方は塩田西小学校の低学年棟の使用している北校舎棟のトイレの改修をしている。こちらの方も、7月に契約業者が決まり、現状では内装工事を盛んにやっており、もうじきトイレブース衛生器具等が入るということで順調に進んでいる。

最後に、5番目になるが、学校施設の適正な営繕の実施ということで、こちらの方の修繕営繕だが、特別支援教室へのエアコン設置や中学校の放送設備、あと一番は配管の老朽化とかプール改修の修繕、雨漏り等も多くあり、そちらの方をやっている。

特に緊急対応として、6月2日台風2号により被害にあった傍陽小、武石小の雨漏り、8月1日には豪雨災害ということで、中塩田小学校で倒木があったり、六中の体育館が雨漏りしたり、8月18日の局地的なゲリラ豪雨により、豊殿小の体育館の一部に被害が生じ、そちらの修繕もやっている。

直近では、9月16日のゲリラ豪雨で改築中の五中だが、古い方の校舎が落雷に遭い、放送が聞こえなくなりました。電話の交換機の設備が破損し、そちらの方の修繕も今同時にやっている。一応順調に今のところ進んでいる。以上である。

◇上原生涯学習・文化財課長

続いて、重点目標の3「文化遺産の保存・継承・活用」と、重点目標の4「生涯学習の推進と学習環境の整備」ということで、生涯学習・文化財課で担当するので御説明する。

まず、私の方から重点目標の3「文化財の保存と活用」、そして3「郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出」について。

文化財の保存と活用ということで、重点取組項目として3点挙げている。それぞれ、文化財の指定登録については、御覧の通り文化庁に3件が既に意見具申をしているところである。

そのほか、文化財に積極的な活用については御覧の通り、文化財 de 文化祭の開催、日本遺産セミナー、これは開催予定であるが、すでに14日に終了しているが、予定どおり来ている。

また重点取組の一つとして、仏像展に向けた仏像調査・準備ということで昨年令和4年度から続けてきているが、順調に調査を進めているところである。

続いて、3番の郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出である。こちらについても3点、重点取組項目を挙げている。

まず(1)、郷土ゆかりの先人・偉人の顕彰事業については、これからになるが、10月11日に向けて「出張どこでも先人館」ということで、公民館等の文化祭の機会を使いながら、準備を進めているところである。(2)の「郷土の歴史、文化、人物等をテーマとした展覧会や講座等の開催」については、市立博物館、信濃国分寺資料館において、企画展、また講座等の開催を予定して、予定通り進めているところである。(3)発掘した文化財等の活用については、クジラ化石の関係であるけれども、この夏休みに3公民館において、親子向け「クジラの化石講座」を実施したところである。

次に重点目標の4である。まず1「上田自由大学運動等の顕彰による生涯学習推進」である。

こちらについては、今年度も記念フォーラム開催ということで11月26日を予定しているが、実行委員会開催準備をしているところである。

2番目として「地域とともにある学校づくりの充実」について、二つの傾向を挙げているが、まず研修の機会、情報交流会の実施ということであるが、既に学校支援ボランティア交流会を8月に開催し、また基礎研修として、対応をとっているところである。

あと(2)としては、「地域とともにある学校づくり学校支援だより」を、10月発行に向けて準備しており、そちらホームページの紹介についても順次情報収集しているところである。

最後に4番の青少年の健やかな成長を支援する取組については、こちらの記載、大変恐縮であるが5月27日、8月8日と書いてあるが、まず5月27日については、親子山城体験学習ということで、先ほど文化財 de 文化祭の御説明をしたが、育成会との連携でこちらの事業を実施してきている。

また、8月8日については、リバートレッキングということで、内村川による体験活動を実施してきている。こちらについても予定通り進めるとともに、今後の活動についても、予定の計画通り進めたいと考えている。以上である。

◇和根崎上田城跡整備担当政策幹

それでは私から、重点目標の3-2「史跡上田城跡整備事業の推進」というところを説明する。

具体的な重点取組項目については、ここに掲げている3つである。それぞれ進捗状況等について説明する。

1番「史跡上田城跡保存活用計画」については、現在計画案の策定を行っており、文化庁等との協議に努めているところである。

それから2番「武者溜まり整備事業」については、都市建設部の上田城跡整備室と連携をして進めている。現在、教育委員会としては、三十間堀跡、それから旧市民会館駐車場の発掘調査を実施している。

武者溜まり基本計画、それから旧市民会館解体の実績については、城跡整備室で担当しているが、旧市民会館の解体実施設計については、先日、契約締結をして進めている。

それから3番「櫓の復元的整備」については、櫓復元推進室において進めているが、書いてある通り、本丸櫓の発掘調査を9月から実施している。

それから、写真等の最終的な収集に関して懸賞金制度を7月から導入した。また、博物館の別館を借りて8月から上田城パネル展を実施し、サントミュージゼでは10月29日に上田城シンポジウムを開催予定である。以上である。

◇久保田人権同和教育政策幹

それでは、人権同和担当分について私から説明する。

報告4-3番「人権尊重の精神が日常的に発揮できる人権同和教育・啓発の推進」において、当初の目標としては、各種人権啓発団体が行う啓発事業の実施として、講演会研修会を実施することとした。

中間報告として、5月10日に中央公民館で人権啓発推進委員会総会での講演会、4月10日にマルチメディア情報センターで企業人権教育連絡会の新入社員研修会、6月8日に企業人権連絡会定期総会講演会を開催し、おおむね予定した通りの結果となっている。以上である。

◇星野中央公民館長

それでは公民館関係についてお願いします。

5番の「公民館事業の充実」について。

(1)「自治会連合会からの要望を踏まえた分館のあり方の検討」については、自治会連合会の検討部会のヒアリングに関して、自治会連合会からの意見、要望を把握するとともに、各分館に対してアンケート調査を実施して、アンケート調査に基づいた方針を協議した。

また、各公民館の運営審議会の委員や教育委員の皆様からの意見を踏まえて、教育委員会と公民館としての基本方針を固めて、先日行われた三者懇談会において、自治会連合会の皆様に御報告の方、市としての対応を説明したところである。

(2)「分館に対する応援体制の充実・強化」については、分館活動の支援として文化活動の手引きの冊子を作成し、各分館の方に作成配布を行った。

また、相談窓口を設置して、各分館からの活動に対する相談等に対応したところである。

(3)「使用料等算定に係る受益者負担のあり方に関する基本方針」、公共施設の使用料の見直しの基本方針については、この7月に行政管理課で市民説明会が行われるので、公民館の職員の方でも説明会に参加し、公民館業者からの意見を把握するとともに、行政管理課と情報共有しながら公民館としての対応を検討しているところである。公民館については以上である。

◇金田上田情報ライブラリー館長

続きまして、6番の「図書館サービスの充実」について説明させていただく。

市内の4つの図書館における、サービスの充実について定めている3項目である。

まず一つ目、電子図書館、デジとしょ信州の利用促進ということで、広報うえだをはじめとする様々なメディアを利用して広報を行ってきた。

また、チラシやポスターを市内の大学、高校などへ配布し、公民館などでも配布している。

また、7月を利用促進月間として、貸し出しの際に渡すレシートに広告を載せてPRをした。

上田市内の4つの図書館のホームページに常時トップページにデジとしょの画面が出るような形で体験コーナーを設置している。

2つ目の「中高生向けサービスの充実」については、高等学校の図書館司書からエコールの図書館の利用について要望が上がってきており、それに対応する形で、今、ルール作りを進めている

ところである。

各図書館においては、ティーンズコーナーを設置して、おすすめの本の紹介を行っている。3番の「職員の資質向上」においては、県立図書館をはじめとする各図書館で行った研修に参加した職員間で研修内容の情報共有を行う形をとっている。

峯村教育長

全ての説明が終わった。全体を通して、意見があるか。

森田委員

手短に、全体を通して。

まず重点目標1のところ、「確かな学力の育成」のところ、MIMの活用が7年目に入っているという話だった。

ユニバーサルデザイン化の教育の推進も含めてだが、こういう研修会や公開授業の取組とか、そのような実施の回数というのは報告があるのだが、このMIMの活用やユニバーサルデザイン化の推進をしたことによって、実際その学力の向上や子ども達の学力の効果など、何か検証されてきた結果や報告というのは、学校現場から上がってくることはあるのか。

峯村教育長

すみません。今回は意見として出させていただくということで、質問も含めて次回、回答させていただきます。ほかにいかがか。

森田委員

民間施設のガイドラインについて、これも具体的にどのような進捗状況で今後のスケジュールなのかというのも、またの機会で結構なので教えて欲しい。

峯村教育長

では、併せて次回に回答するでよろしいか。

森田委員

了承

大久保委員

重点目標の1の3の(1)「毎日朝食を食べる児童生徒の割合」だが、進捗状況が「各給食施設で朝食に関する情報提供を行った平均回数6回(3~12回)」とあるが、これは施設によって3回のところと12回もやってくれたところとあるということか。多いところ、12回と3回しかやらないところと差がありすぎるのではないかなというふうに感じた。子どもたちへの教育効果の格差が気になる。給食施設間でももう少し情報提供の機会や内容を共有するなどしていただいた方がいいのかなと思う。

峯村教育長

はい、次回、回答する。

大久保委員

2-5-(1)「小中学校のあり方の検討」だが、説明会への参加者の数の報告を毎回いただいているが、少ないところが多いな、という印象である。参加者の方をもう少し多くする工夫みたいなもの

をしていただけないかと考える。やはり興味のあるテーマがある、ないで、参加者の数もだいぶ違うとは思うのだが、地域にとっても、その学校の保護者の方にも、学校にとっても、また上田市にとっても「今後上田市としては、学校のあり方をこう考えている」ということを説明する、とても大事な場だと思うので、何かそういった工夫ができるといいなと思った。

峯村教育長

これについては、各中学校区の説明会の参加人数を一緒に表にまとめて今後どうすれば参加者が増えるかという案も次回示す。

大久保委員

あと二つ。次、重点目標の3ですね。これ意見というか希望なのだが、博物館であるとか資料館であるが、体験型の体験講座、体験教室で、講座等の開催をしていただくのはとてもいいと思う。ただ、資料館ではほかの上田市の資料館だとか、ほかにもあると思うのだが、ただ郷土のものを展示するだけではなく、地域の知的好奇心の高い方が、そういった講座とか体験教室に行くために出入りができる、子供たちも含めて、そういったことをどんどんやっていただいて、もっと地域のことを知ってということについて、活発な活動がたくさんあったらいいなと思う。このままどんどんほかの資料館にも広げていっていただきたいなというふうに思った。

峯村教育長

御要望ということか。

大久保委員

はい。

あと4番で、重点目標の4番「図書館サービスの充実」のところだが、7月の(1)のデジとsho信州の利用促進のところなのだが、7月の利用促進月間ということで、いろいろとPR活動をやっていたかと思うのだが、どのような効果があったという、加入者の実際の数などの実績を知りたい。やっていただいた内容の中で、貸し出しレシートに広告を載せたりだとか本当にいろいろな活動をやっていたので、多分それなりの効果があったんじゃないかなというふうに思うのだが、私も実際、図書館だとか、自治センターだとか伺ったときに、そういったデジとsho信州の勧誘だとかがあったり、図書館では(2)の「中高生向けサービスの充実」図書館のところに中高生向けの本が、きちんとレイアウトされていたりだとか、すごく図書館活動を活発にしているなというふうに思った。

今後も、こういった活動をぜひ続けていただくことで、「図書館が何かやっているな」と思っただけことができ、来館者数も増えると思う。引き続きこういった活動を続けていただきたいなと思った。

峯村教育長

御要望ということでよろしいか。

大久保委員

了承

峯村教育長

ほかにはいかがか。

木口委員、

私もいくつか。まず1番の目標のところの1-2のところのいじめ不登校などの対策のところになるのだけれども、そこのところ「スクリーニング会議」、これ私自身が不勉強で申し訳ないけれどもスクリーニング会議というのは、何を、誰を対象にして、どういうふうにするっていう会議、実際に会議なのか、っていうところである。

スクリーニングというと、何か分けるっていうようなところがあるかなと思うのだが、実際、学校の現場で行っているこのスクリーニング会議とは、何をどのような対象にして、どういうふうに行われているものなのか、そこを知りたいのと、その25校、実施されているっていうことで、その実施されてる内容、個人情報の保護とかの問題は、当然それはあるのだが、そういったものが共有とかされるたりすることはあるのだろうか。ケースがいろいろとあると思うので、やっぱりケースを共有するということは、いろんな形で大事かなというふうに思っているのだが、スクールカウンセラーは、これは市では2人だけということなのか。

長田学校教育課長

はい。

木口委員

はい。それで、心の教室の相談員の方が市内にいろいろいらっしゃるかと思うのだが、その方たちの人数も、何人いるか、私も把握していないのだが、その、心の相談員の方たちとの連携とか、その辺についても、また教えていただきたいなというふうに思う。

峯村教育長

長田課長、次回までに資料をお願いします。

長田学校教育課長

了承。

木口委員

そして、重点目標4の方だが、学校支援の方のコーディネーター、以前もう学校支援コーディネーターの講座みたいなのか確かされていたんじゃないかなと思うのだが、何かひとつの資格的な感じにしてやられていたかと私は記憶しているのだが、今、実際に学校支援コーディネーターがどのように機能しているのかなという、何人ぐらいの方がどれぐらいの学校で活動されていたりして、その学校支援コーディネーターによってこんなことが可能になっているとかいうようなやっぱり効果みたいな部分があるかと思うのだが、今回やられてるこの交流会だとか研修だとかって、これはとても意義のあることだと思うのだが、そこからの部分としてその辺もまた教えていただきたいというふうに思っている。

峯村教育長

はい。では次回までに上原課長をお願いします。

木口委員

了承。

安達委員

もう出していただいたが、ガイドラインのところ、さっき4名という話も出た。4名参加する予定というあたりとか、このガイドラインの出席扱いの要件に関わって「民間施設の要件」は、

これから出ていくようなとても難しいことだと思う。学校によって、この施設は出席にしたけどこちらの施設は出席にしないと違ってくると困るし、そのことで実際困っている子どもがいるわけなので、見通しが早くつけばいいなと思っている。
よろしくをお願いします。

峯村教育長

要望ということでよろしいか。

安達委員

了承。

峯村教育長

時間の関係で、質問に対しての答えは次回に報告させていただきたい。
それでは、次(2)(3)だが、和根崎上田城跡整備担当政策幹に説明していただく。

(2) 上田城跡発掘調査等の進捗状況について（生涯学習・文化財課）

○資料2により和根崎上田城跡整備担当政策幹説明

はい。まず、報告事項の2番である。「上田城復元の夢を叶える市民の会の設立について」ということで、資料の2を御覧いただきたい。設立の経過については割愛する。

2番の「目的」、それから3番の「主な取組」であるが、上田城の復元に向けた機運醸成、それからふるさと寄付金等の一層の取組というところを目指して、市が行う取組の支援を行ってくださるということで、民間の方々が、今回の会を立ち上げていただいた。

主な取組というところ、全て説明はしないが、例えば、10月29日の上田城シンポジウムの会場での広報活動があるとか、あるいはふるさと寄付金のPR等、これを、11月の3、4、5日で上田城紅葉まつりがあるのだが、そちらでPRブースを作って取り組む。具体的な取組についてはこちらの資料を御覧いただきたい。

それから、今回のメンバーであるが、4番のところを御覧いただきたい。

四角の一番下になるが、事務局は上田商工会議所の方で担っていただけるということである。

それから会長については、商工会議所の顧問である前会頭の柳澤憲一郎さんということである。

メンバーについては、書いてある通りだが、副会長の一番上の列のところ堀内健一さん、現在の会長の会頭、それから、2行目にも堀内健一さんのお名前があるが、両方とも充て職ということで同じ名前が書いてあるが御理解いただきたい。

最後に、5番の「その他」のところ、令和6年3月末に上田城復元推進協議会ということで設立予定と書いてあるが、これについては、改めてまた、教育委員会の方に報告をさせていただきます。

峯村教育長

上田城復元に向けて、機運の上昇のために民間の皆さんが立ち上がっていただいた。

これからますますこういう動きが盛んになって、上田市民の夢が実現していくというようなとかなと思う。

質問等あればお出しいただきたい。

○一同質問なし

峯村教育長

それでは続いて、上田城跡発掘調査現地説明会開催についてお願いします。

(3) 上田城跡発掘調査現地説明会の開催について（生涯学習・文化財課）

○資料 3 により和根崎上田城跡整備担当政策幹説明

続きまして、報告事項「上田城の発掘調査現地説明会の開催について」ということで資料の 3 を御覧いただきたい。

8 月から発掘調査実施をしているその成果報告、それから今後のスケジュール感というか、そのようなところを含めて、市民の皆さんに発信をしたいということで、今回開催をする。

日時は、11 月の 4 日の土曜日、午前の部、午後の部ということで、それぞれ 3 回開催をする。説明内容は同じである。ちなみに今回のこの現地説明会は、上田城紅葉まつりの期間中に合わせて、城跡公園の中で行うということで、あえてそのタイミングでやるということで御理解いただければと思う。会場は、この地図のところに書いてある通りである。

一点、訂正をお願いしたい。②のところの赤い□のところに「鬼門除け跡跡」、と書いてあるが、すみませんが「鬼門除け櫓跡」というふうに訂正をお願いしたい。跡が二つ続いているが、「鬼門除け櫓跡」ということでお願いをする。

会場については、この旧市民会館の駐車場とそれから本丸の櫓跡で行いたいと思う。

開催の告知等については、ここに書いてある通りである。現在の発掘現場、あるいは上田城パネル展、上田博物館等でも周知を行っているが、今後プレスリリースもするので、メディア等でも記事を目にされる機会があるかと思うが、大勢の方にお集まりいただき、発掘調査、それから武者溜まりの現状報告等を広く発信していきたいと思うので、御都合等よろしければ足を運んでいただければ幸いです。以上である。

峯村教育長

これまでの発掘調査について、上田市のホームページに載っているのか。

和根崎上田城跡整備担当政策幹

上田市のホームページに上田城の特設ページを設けているので、そちら検索していただくとこれまでの取組とそれから現状報告等させていただいているので、御覧いただければと思う。

峯村教育長

ぜひ御覧いただきたい。

大変夢が膨らむような写真が載っている。

森田委員

いいですか質問。

峯村教育長

どうぞ。

森田委員

これについては、参加者の募集定員定めるのか。結構、紅葉まつりや真田まつりで、観光客も含めて非常に大勢集まることが予想される。県外の方たちも大勢いらっしゃると思うし、注目度も高いと思うのだが、そのあたりはどのようにお考えか。

和根崎上田城跡整備担当政策幹

御指摘いただいた通り、今回、観光客の皆さんに見ていただきたいということを第 1 に考えて、この紅葉まつりスケジュールも合わせているところである。それから連日の発掘調査をしている

と市民の方々が毎日散歩に来たり、興味深そうに現場を覗いていただいているので、一番そういう方々に発信したいということで、アナログなのだが、発掘現場に開催の告知をしたりとかということをしている。

ほかに、今、この関連する城跡整備の3部局の方と市民の会の情報を発信するSNSのアカウントを今回設けて、それによって発信をしていくのと信濃毎日新聞等にも取材の依頼が来ており、いろいろなところで発信して、より多くの皆さんに開催を告知していきたいと思う。事前申し込み等は一切不要ということで、現地にお越しいただければと考えている。

森田委員

大丈夫ですか。

和根崎上田城跡整備担当政策幹

キャパとしては、あえて1時間ずつ隙間を空けているのは、臨時的に対応できるようにということで1時間ずつであるので、もしかしたら3回ではなく4回、5回の説明会開催ができるかもしれないということで、1時間空けているので、その辺をお含みいただければと思う。

森田委員

通常の状態の時と違って土日ですし、いろいろなことが想定されると思うので、十分いろいろなところに配慮した準備をしていただきたいと思います。

峯村教育長

ほかにはいかがか。よろしいか。

○一同了承

峯村教育長

それでは(4)と、(5)は説明がないが、御意見、御質問あればお出しいただきたい。

安達委員

すみません。公民館だよりを見ていて、自分だけなのか何かモヤモヤして。中央公民館だよりの裏面です。裏面の左の下のところはこれ求人広告じゃないかなと思って。それがずっと引っかかっていた。

学校の様子を知ってもらいたい、今のコミュニティスクールで公民館でお世話になっているので知ってもらいたいってことはいいと思うのだが、こういう形でこれ本当にいいのかなってということで、見たときにとってもモヤモヤしていた。ただ感想だけです。

峯村教育長

確かに教員不足に対応するのは教育委員会の仕事ではある。

安達委員

はい、このことはもうとても大事。

欲しいと思うのだけでも、ただ、公民館の広報のところこれが載ることについて何か大変モヤモヤしているところがあった。

峯村教育長

ありがとうございます。また検討してもらいたいと思います。

星野中央公民館長

学校の先生の方にいろいろと学校運営協議会とか参加する中で、やはり各学校の校長先生の方から現場での教員不足が切実な問題ということであると、先生の方でもいろんなOBなどに声をかけているらしいのだが、やはりなかなかこういった教員の経験者の方が集まらないということをお聞きしている。いろんなチャンネルを利用して、募集というか教員の方の情報を集めているということで、できれば公民館だよりでも御協力いただけないかということで、今回出させていたいただいたのが主である。あまり大きく職員報酬というかそういったハローワーク的なことを公民館で行うわけじゃないのですが、やはり公民館としても学校支援として取り組んでいる関係上、いろいろな学校の取組とかボランティア募集等の情報は発信したいということです。すみません。先走ったみたいな形になってしまったが、このような形で出させていただいた次第です。

安達委員長

たまたま、公民館だよりが全館集まっているので、そうした時にやっぱり、ほかの公民館の地域でも、実際は欲しいと思っているところはあるはずなのに、中央公民館だけに載っている。そんなことも感じた。

要するに、官報にこういう形でいいのかな、と自分の中でモヤモヤしていたところである。

峯村教育長

今後慎重に検討してまいりたいと思う。

ほかにはいかがか。

木口委員

今、安達委員のお話があった件で言うと、例えば官報、公民館報は確かにそうかなと思ったのだが、それこそ市報とかなら、そういうことをやってもいいんじゃないかなっていうふうに思っていて。以前、何かニュースでも見たのだけれども、埼玉県でいわゆるペーパー教員というような言われ方をしている免許だけは持っているけれども現場経験はなくて、でも、子育てが終わってとか、少し働きたいなんていう人のために、研修みたいなものを企画したりしているニュースも見た。いわゆる資格を持っているのだが、学校の現場の状況がわかっていなかったり、今本当に少ないってということもあまり知らなかったりとかっていう人もいたりすると思うので、それこそ市報とか、そういうところに案内を出すのはいいんじゃないかなと思った。

安達委員

いいですか。

自分で思って何とかそのモヤモヤを理由付けしたのは、例えば民間の学校から依頼があって、同じ内容を載せてってきたときに同じようにできるかなって思う。断る場合、その事に対して合理的に説明をできるかっていうことをやっぱり求人っていうか、これ求人とは書いていないのだけれども、そういうものをこういう市の広報とか、こういうところに載せてしまうと「市のことは、私達の税金使ってやっているのに、うちの会社の公募はしてくれないの」っていうことになった時、それは民間だからだめですよ、というのは、合理的な説明になるのかなっていうことが少し自分でおかしいなと思うところである。

峯村教育長

いずれにしろ、教員不足は本当に深刻な問題である。どういう形で学校の職員に就いていない方を探すかということは、学校教育課の方でも検討していただきたい。

どういう形で調べていくかということも大事であるし、この学校の何年の担任の先生が欲しいのかという具体的な話にもなりますし。「その学年にふさわしい方」というような気持ちで各校の校長先生も探してらっしゃると思うので。

ニーズの状況も要望もかなり大事なウエイトを占めます。ぜひ検討していただきたいと思う。ほかにはいかがか。よろしいか。

○全員了承

3 その他

峯村教育長

それでは3番のその他であるが、何か事務局から報告連絡よろしいか。

○連絡事項なし

峯村教育長

はい、長時間にわたってありがとうございました。

それでは以上をもちまして10月の定例会を閉じます。

ありがとうございました。

○全員了承

閉 会